

主 文

本件上告を棄却する。

理 由

弁護人石原豊昭の上告趣意第一点は、単なる法令違反の主張であり（旧河川法（明治二九年法律七一号）五八条ノ二、一号、一八条と刑法二三五条ノ二とは、特別法、一般法の関係にあるものではない旨の原判断は、正当である。）、同第二点は、単なる訴訟法違反の主張であり、同第三点は、量刑不当の主張であつて、いずれも刑訴法四〇五条の上告理由に当たらない。また、記録を調べても、同四一一条を適用すべきものとは認められない。

よつて、同四一四条、三八六条一項三号、一八一条一項但書により、裁判官全員一致の意見で、主文のとおり決定する。

昭和四二年一月二〇日

最高裁判所第三小法廷

裁判長裁判官	田	中	二	郎
裁判官	柏	原	語	六
裁判官	下	村	三	郎